

ふくじゅそう

HomepageAddress <http://www.janis.or.jp/users/fukujuen/index.htm>

発行 社会福祉法人 佐久福寿園
特別養護老人ホーム 佐久福寿園
佐久市岩村田デイサービスセンター
〒385-0022 長野県佐久市岩村田4213
TEL:0267-68-3055 FAX:0267-68-6635
E-mail : fukujuen@janis.or.jp

特別養護老人ホーム佐久福寿園&佐久市岩村田デイサービスセンターだより 令和7年8月発行



見守り介護ロボットはゲスト、職員 双方に優しい最新のICT機器の一つです!

ICT (Information and Communication Technologyの略で情報通信技術のこと) は医療福祉、教育、建設、防災、観光など幅広い分野で活用されています。

当施設では昨年度「aams (アアムス) =見守り介護ロボット」を新たに導入しました。aamsはベッドマットレスの下に敷くセンサーマットで、ゲストの心拍、呼吸、体動、離着床、睡眠の状態などがタブレットやパソコンに表示され、離れた場所からでも様子を見守ることができます。上記の項目で変化や異常があるとセンサーが反応してPHSやタブレットに通知され、職員が訪室して対応します。これまでは立位がとれる方はベッドの足元にセンサーを設置していましたが、ゲストが足を下した時点で反応するため、駆けつけた時にはすでに歩き出していたり間に合わず床に転倒していたケースも少なくありませんでした。

一方aamsは、ゲストがベッドから起き上がった時点でコールが鳴るよう設定できるため、歩き出す前に駆けつけることができ転倒事故防止につながっています。

また、個人個人の生活リズムを知ることができ睡眠状態もわかるので、おむつ交換のタイミングなどご本人の睡眠を妨げることなくケアに入る事ができたり、看取り介護のゲストの状態変化にも早期に気付くことができます。

職員の少ない時間帯や夜勤帯でも安心して業務ができ、職員にとって精神的負担の軽減にもつながっています。

これからは介護の仕事新たな3K「カッコいい」「革新的」「感動」として認知していただけるよう取り組んでいく事に力を入れていきたい所存です。そして次号、～未来有る子供達へ福祉の楽しさを伝える～の巻を掲載できるはず! (笑)



FUKUJYUEN

こころとふれあい
信頼される介護を
目指します。

4つの“？”を探ろう！



施設内研修でスキルアップ – part 2

当施設では定期的に職員向け施設内研修を実施しています。前号では、職員同士で面会にみえたご家族への対応方法を体験して実践に結び付けていることや、ゲストの生活の中で危険因子を見つけ出し事故や怪我に繋げないための『危険予知トレーニング（KYT）』についてご紹介しました。

今回のテーマはプライバシー保護・虐待防止と身体拘束防止についてです。



③ そのケアって適切…？それとも不適切…？

月に一度開催している接遇マナー委員会では、ゲストや来園者への言葉遣い、職員同士の言葉遣い、生活環境の整備などについて日々取り組んでいます。あるとき委員から、ゲストのプライバシーに関するケア方法について意見が出ました。例えば、ユニットの扉が開いたままになっていてユニットの中の様子が丸見えになっているのはどうなのか、職員が入浴時の着替えや使用前のおむつや紙パンツを手に持ちながらユニット内を移動しているのはどうなのか、下着代わりのものをそのまま持ち歩かれるのは自分だったら嫌だ等々。すると「実は今まで気になってたけどこれってどうなんだろう？」という意見が次々と上がりました。

そこで、法人全体に向けて『介護現場の“それってどうなの？”について考えよう』というアンケートを実施することに。上記のような場面を見たときゲストや家族の立場だったらどう感じるか考えてもらいました。すると、人には見られたくない、恥ずかしいといった不快に感じる回答や、タイミングによっては仕方ないのではという回答など様々な意見が出てきました。他にも違和感や疑問に感じていることとして、食べこぼしのシミが付いた服が気になる、汚染した衣類がトイレ内に置いたままになっているときがある、トイレが頻回な方に対して「さっき行きましたよ」「もう出ないと思いますよ」と言ってしまう…といった声があがりました。

明らかに改善が必要な事柄に関しては早急に改善策を委員会やフロアで考え、ケア方法の見直し、職員の心身の負担の軽減、統一したルールを作るなどして実施しています。個人の感覚や考え方で意見が分れた事柄に関しては、そのケアの根拠や必要性をまず確認し合い、相手のとらえ方によっては不適切と感じさせてしまう可能性がある場合はプライバシーに配慮したり、誤解が生じないような対応をとることにしました。

今回の取り組みは、単にお互いのケア方法を批判したり正解不正解を結論付けるのではなく、自分たちのケアを振り返ること、当たり前と思って行っていることに疑問を持つこと、ケアの根拠を考えるきっかけにすることを目的としています。そこを見落としたり見過ごしていると自分たちが気づかぬうちに相手の心を傷つけてしまい、その先の“虐待”に発展してしまう危険があるからです。違和感や疑問など職員が声をあげやすい環境づくりも重要ですね。俯瞰的な視点で自分たちの介護を見つめ直す機会を定期的に設けると自然とそのスキルが身につく、日常的に気付ける“目”が増えることで虐待になり得る“芽”を摘むことにもつながっています。



④ 安全優先、職員優先＝ゲストの自由を奪う…？

介護における「身体拘束」はその方の自由な行動を制限することにより、人間としての尊厳を侵したり身体的・精神的苦痛を与えることをいいます。介護現場では手足を縛って動けなくするといった明らかな身体拘束よりは、怪我をさせたくない、安全に過ごしてもらいたいという意図でとった対策が、実は本人の自由を奪ったり本人の意思に反する対応をしていたという事案が発生しやすいです。当施設では身体拘束適正化の研修会を定期的開催し防止に努めています。

先日行った研修会では“これは身体拘束に当たるのだろうか？”と判断に迷ういわゆるグレーゾーンの事例をあげ、身体拘束だと思わない場合は○、拘束だと思う場合は×に分かれディベート方式で意見を出し合いました。実際に研修会で取り上げた事例を一つご紹介します。

『脳梗塞の後遺症で記憶障害や感情障害のあるAさん。トイレの感覚が近く、何度もトイレの希望やナースコールがあり、職員は「少しお待ちください」「さっき行ったばかりだから」と伝え、待ってもらうことが増えており職員も対応に疲弊している。最近は怒鳴ったり手を振り上げる仕草が見られるようになったため看護師が医師に相談したところ気持ちが落ち着く薬が処方された』という事例。それまでの背景や詳細な情報はなく、上記のみから判断します。

さて、皆さんはどう思われますか？ Aさんへの対応は身体拘束なのでしょうか。

研修会では次のような意見が出ました。

身体拘束だと思わない	身体拘束だと思う
・ゲストが穏やかに過ごせているかどうか大事。心が落ち着けば穏やかになるのでは。 ・怒鳴ったり手が出てきていると職員にも負担がかかってくる。職員が耐えることがいいことではない。 ・病気が原因で攻撃的になる方もいる。ゲストにとっては薬の力を借りるのも手段の一つ。	・薬に頼るのは良くない。薬によるリスクも発生する。 ・トイレに行きたいというAさんの意思を薬で抑制している。 ・薬の前に代替ケアをまず話し合うべき。 ・職員の言葉はスピーチロック（言葉による拘束）に当たるのでは。

白黒はっきりしないグレーゾーンは、身体拘束と疑いもせずに行っていたり気づいても周りが行っているからと声をあげられなかったりするケースは少なくありません。その背景には職員の知識不足や人手不足、業務負担のストレスなど様々な要因が考えられます。

今回のディベートでは一人の意見に賛同したり反論したり時には拍手を送ったりと、とても活発で有意義な時間となりました。

前号に続き『4つの“？”を探ろう』をテーマに当施設の取り組みをご紹介しました。虐待にも身体拘束にもいえることですが、そのケアはゲスト本位であり適切な対応なのかと一度立ち止まり考えること、そして職員が一人で抱えることなく全員で悩み解決策を見出していく経過を私たちは大切にしています。“先輩に言われたから、みんながそうしているから”ではなく、自分たちで考える力や判断力が身につけられるような研修会を今後も企画開催していきたいと思います。

社会福祉法人佐久福寿園 役員名簿 (敬称略)

理 事 R7.6～R9.6			参 与	
和田 裕一	佐久福寿園理事長兼施設長		小山 仁志	長野県議会議員
堀籠 達雄	元御代田町助役		評議員 R7.6～R11.6	
吉澤 貞良	元佐久市荒宿区理事		吉澤 勝利	元佐久市区長会長
金澤 政之	金澤病院病院長		上原 康徳	前佐久市住吉区長
和田 加代	佐久福寿園居宅介護支援事業所管理者		角田 三男	元佐久浅間農協支所長
原田 明恵	佐久福寿園介護サービス部長		神津 武雄	元佐久浅間農協筆頭理事
監 事 R7.6～R9.6			藤巻 一敏	元長野銀行支店長
神津 広光	元佐久浅間農協支所長		木内 雄一	入居者家族代表
佐藤 剛雄	佐久市住吉町副区長		市川日出雄	利用者家族
			渡邊 弘子	近隣住民代表

貸 借 対 照 表

令和7年3月31日現在

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	508,939	流動負債	6,348
固定資産	1,003,104	固定負債	455,679
		負 債 合 計	462,028
		純 資 産 の 部	
		基本金	140,372
		国庫補助金等特別積立金	316,709
		その他の積立金	80,721
		次期繰越活動差額	512,214
		純 資 産 合 計	1,050,015
資産合計	1,512,043	負債及び純資産合計	1,512,043

令和6年度 (福)佐久福寿園 決 算 報 告

事業活動計算書

令和6年4月1日～令和7年3月31日

(単位：千円)

科 目	金 額
サービス活動収益	554,877
サービス活動費用	546,407
サービス活動差額	8,470
サービス活動外収益	10,366
サービス活動外費用	2,095
サービス活動外差額	8,271
経常差額	16,741
特別収益	0
特別費用	0
特別差額	0
当期活動差額	16,741
前期繰越活動差額	495,473
当期末繰越活動差額	512,214
積立金取崩額	0
次期繰越活動差額	512,214



【令和六年度分】

匿名希望者様 五十万円

匿名希望者様 十万円

匿名希望者様 十万円

円満寺様 一万円

【令和五年度分】

円満寺様 一万円

御寄付

佐久市岩村田デイサービスセンター

毎月のイベントより 令和6年の様子

6月の音楽会では、岩デユフレレクラブ (IUC) のコンサートを行いました。現在演歌から洋楽まで幅広くレパートリーは20曲以上となりました♪



8月は『岩デサマーダンスフェス』と称し、千手観音ダンス、YMCA、バンブーダンス、男性職員はさらに一世風靡セピアのダンスを披露しました。ゲストの飛び入り参加もあり、大いに盛り上がりました!!



9月是一大イベント敬老会!! 『遠山の金さんならぬ岩んだの岩ちゃん』というオリジナル痛快時代劇を上演。なんと小道具から背景まで職員の手作りです。職員の迫真の演技に拍手喝采でした。



昨年の様子を掲載しましたが、令和7年の夏も様々な行事を予定しています。今年の夏は外も暑い岩デも熱い! たくさん笑って、たくさん動いて、たくさん盛り上がって楽しい時間を過ごしましょう!

カレンダー制作

毎月季節に沿った、個性とセンスがきらりと光る、世界に一つだけの素敵なカレンダーが出来上がります。皆さん持ち帰り飾るのを楽しみにしてくれています。クオリティーが高いとの声も多く頂いています。



通所型サービスA <げんきあっぷクラブ>

通所型Aは半日コース・1日コース（入浴あり）があり、お好みに合わせてご利用いただけます。制作活動やフレイル予防の体操を中心に行い、昼食は季節感のある栄養バランスの良い食事を提供しています。1日コースの方は大きいお風呂で温まり帰宅されます。見学も随時受け付けております。



今年もゲスト皆様に楽しんでいただけるよう、たくさんのイベントを行ってきました。「楽しかったよ」という言葉や笑顔が、私たちの大きな励みとなりました。今後も皆様と一緒に楽しめるようなイベントを計画していきたいと思ひます。

イベント当日が利用曜日でない場合も振替利用や追加利用のご希望を承りますのでご相談ください。また、ご家族の見学・参加もお待ちしています。

日々の活動の様子をInstagramで好評発信中です。ぜひご覧ください。

一緒に楽しい時間をすごしませんか？
岩村田デイサービス、
げんきあっぷクラブの
お問い合わせは

0267-68-6453 依田
まで

佐久福寿園HP



<http://www.janis.or.jp/users/fukujuen/index.htm>

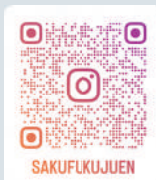
X (旧Twitter)



@sakufukujuen

Instagram

佐久福寿園



岩村田デイサービスセンター

